

読賣新聞

2005年(平成17年)9月11日 木曜日

社説

自分が被災者にと考えてみよう

防災の日

このところ、防災への関心が高まっている。防災用品が各地で売れ、首都圏では、大地震で帰宅困難となった時のための支援地図がベストセラーだ。

昨年10月の新潟県中越地震以来、震度5以上の大きな揺れを伴う地震が各地で相次いだためだろう。

今日は、「防災の日」だ。首都直下地震などを想定した政府の総合防災訓練が、1都8県で、90万人が参加して実施される。他の道府県でも訓練が行われる。

せっかくの関心の高まりだ。一過性で終わらせたくない。そのために、一人ひとりが想像力を働かせ、もし自分が被災者になったら、と考えてみよう。

日本は災害列島だ。誰もが、明日にも同じ状況に置かれる可能性がある。どう

やって被害を最小限にとどめるか。それとどうやって、災害時の避難所になる小中学校を一人ひとりが考え、対策を立てて実践につなぐ必要がある。

住宅の耐震化は被害軽減に最も有効とされる。自宅は大丈夫だろうか。家具は倒れて来ないように固定してあるか。避難の準備はできているだろうか。

さらに、目を広げてみよう。自分が勤めている会社は、災害対策をきちんと準備しているか。自分が住んでいる地域や自治体の体制はどうだろうか。

実際には、災害時の業務継続計画を立て、企業は、内閣府の調査で2割に

わたって被害を最小限にとどめるか。それとどうやって、災害時の避難所になる小中学校を一人ひとりが考え、対策を立てて実践につなぐ必要がある。

住宅の耐震化は被害軽減に最も有効とされる。自宅は大丈夫だろうか。家具は倒れて来ないように固定してあるか。避難の準備はできているだろうか。

さらに、目を広げてみよう。自分が勤めている会社は、災害対策をきちんと準備しているか。自分が住んでいる地域や自治体の体制はどうだろうか。

実際には、災害時の業務継続計画を立て、企業は、内閣府の調査で2割に

わたって被害を最小限にとどめるか。それとどうやって、災害時の避難所になる小中学校を一人ひとりが考え、対策を立てて実践につなぐ必要がある。

住宅の耐震化は被害軽減に最も有効とされる。自宅は大丈夫だろうか。家具は倒れて来ないように固定してあるか。避難の準備はできているだろうか。

さらに、目を広げてみよう。自分が勤めている会社は、災害対策をきちんと準備しているか。自分が住んでいる地域や自治体の体制はどうだろうか。

実際には、災害時の業務継続計画を立て、企業は、内閣府の調査で2割に

わたって被害を最小限にとどめるか。それとどうやって、災害時の避難所になる小中学校を一人ひとりが考え、対策を立てて実践につなぐ必要がある。

住宅の耐震化は被害軽減に最も有効とされる。自宅は大丈夫だろうか。家具は倒れて来ないように固定してあるか。避難の準備はできているだろうか。

さらに、目を広げてみよう。自分が勤めている会社は、災害対策をきちんと準備しているか。自分が住んでいる地域や自治体の体制はどうだろうか。

実際には、災害時の業務継続計画を立て、企業は、内閣府の調査で2割に